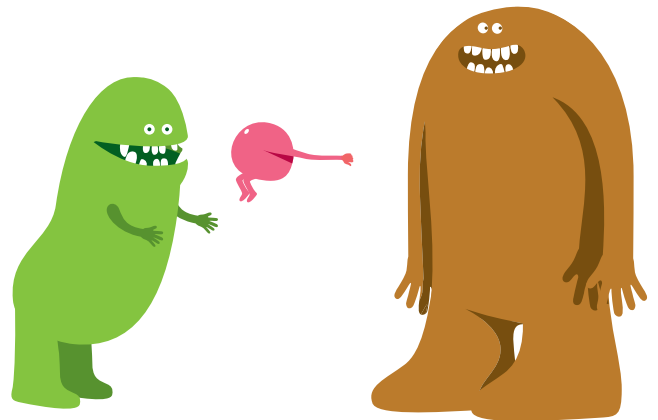


Nabtesco

Nabtesco

第18期 通期  
ナブテスコ通信

2020.1.1—2020.12.31



証券コード：6268

## 新長期ビジョンのもと、 市場の新価値を創造する 「イノベーションリーダー」を目指します。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々やそのご家族の皆さまに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々にお見舞い申し上げます。また、医療従事者の皆さまをはじめ、社会機能の維持にご尽力いただいているすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

代表取締役社長 **寺本克弘**



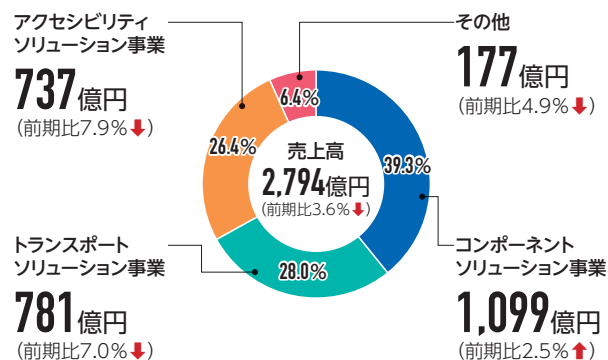
### 新型コロナウイルス感染拡大の影響はありましたが、増益を確保することができました。

新型コロナウイルス感染拡大によって、2020年の世界経済は大きな打撃を受けました。当社グループにおいても、多くの事業分野で需要が減退し、売上高は前期を下回りました。一方、営業利益については、経費節減や業務改革・生産性向上に努めたことに加え、非事業用不動産の売却もあり、増益となりました。コロナ影響等により約100億円の減収を余儀なくされた中で、不動産売却益を除いた本業ベースの営業利益は、ほぼ前期並みの水準を確保できました。

セグメント別の経営成績を見ますと、コンポーネントソリューション事業では、精密減速機が第4四半期より中国や北米の自動車業界向け等で回復に転じたほか、中国

の建設機械向け油圧機器も好調に推移したこと等から、増収増益となりました。トランスポートソリューション事業では、民間航空機向け需要がコロナ影響で大きく落ち込んだほか、商用車用機器も停滞し、減収減益となりました。アクセシビリティソリューション事業も、

#### セグメント別売上高情報(2020年度)



自動ドア事業が国内のオリンピック・パラリンピック開催での再開等の需要が一段落したことに加え、コロナ影響による需要の停滞によって、減収減益となりました。

### 2030年に向けた新長期ビジョンを策定しました。

当社グループはこのほど、2030年に向けた新長期ビジョン「未来の“欲しい”に挑戦し続けるイノベーションリーダー」を策定しました。これまで培ってきた「ナブテスコらしさ」を基盤とし、「技術」「グローバル化」「社会貢献」に注力しながら事業を推進することで、マーケットに新たな価値を創造し、お客さまとともに時代の一步先を切り開くイノベーションリーダーとなることを目指します。

当社グループでは、発足直後の2005年から「グローバル企業集団」として発展することを目指した第一次長期ビジョンに取り組みました。2012年からの第二次長期ビジョンでは「ベストソリューションパートナー」を掲げ、お客さまの課題を解決し、お客さまから頼られる存在となることを目指しました。これらはすでに「ナブテスコらしさ」の一部として我々の中に深く溶け込んでおり、今回の新長期ビジョンを進めていくにあたって、今回の新長期ビジョンを進めていくにあたって、当社グループは変わらず「グローバル企業集団」、「ベストソリューションパートナー」であり続けます。新長期ビジョンは、これらに上乗せする形で「イノベーションリーダー」を目指すものです。さらなる高みを目指すことで一層の成長を実現し、あらゆるステークホルダーの方々からのご期待にお応えしてまいります。

## トップメッセージ

### 2021年度は、新長期ビジョンに基づく 新中期経営計画を策定します。

当社グループは、2017年度からの中期経営計画に取り組んできました。当初は2020年度までの4カ年計画でしたが、コロナ影響により、一部のアクションプランが実行できなかったこと等を受け、期間を1年間延長させていただきました。

当計画では、特にESG課題の解決に向けた取り組みに注力しています。環境領域への対応としては「気候変動対応」「環境負荷低減」「非財務情報の発信充実」、社会領域に対しては「組織の活力の更なる向上」「人財



育成の強化」「CSR調達の強化」、ガバナンス領域に関しては「経営の透明性確保」「リスク管理・コンプライアンスのグローバル化」といった重要な課題を設定し、すでに多くの成果を上げてきました。さらに2020年度には、二酸化炭素排出量の削減目標の達成や、CSR調達方針の改定、社外取締役比率の向上などを実現しました。業績面では、「ROE15%達成」に関しては最終年度での達成は厳しい見通しですが、株主還元の指標である「連結配当性向35%以上」については十分に達成できると考えています。

2022年度からは、新長期ビジョンに基づいた新たな中期経営計画に取り組む予定です。その内容については現在検討を重ねているところですが、新長期ビジョンの精神を象徴するような、説得力のある成長計画としたいと考えています。

### 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ との協業関係を解消しました。

当社グループと株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ(以下、ハーモニック社)は、2005年から協業関係を続けてきましたが、今般、この関係を解消することで合意しました。それに伴って、当社は保有するハーモニック社株式を売却し、ハーモニック社は当社の持分法適用関連会社ではなくなります。この株式売却によって得られる資金は、株主還元として自己

株式の取得・消却に充当するほか、財務基盤の強化に充てる予定です。また、成長投資にも投下してまいります。

### 2021年度は増収増益の見通し。コンポーネントソリューション事業の拡大が続きます。

2021年度の連結業績については、売上高が前期比2.4%増の2,860億円、営業利益は同1.6%増の290億円と見込んでいます。コンポーネントソリューション事業では、精密減速機の需要がさらに回復するとともに、建設機械向け油圧機器が好調を維持する見通しで、受注状況によっては、精密減速機で増産投資に踏み切る可能性もあると考えています。一方、トランスポートソリューション事業とアクセシビリティソリューション事業においては、コロナ影響が継続する見込みです。なお、税引前当期利益および親会社の所有者に帰属する当期利益については、ハーモニック社の持分法適用除外に伴う評価益の計上により、大幅に増加する見通しです。

### 社会へのさらなる貢献とともに、 利益ある成長の継続を目指します。

当社グループは現中期経営計画において、連結配当

性向を35%以上とするとともに、1株当たり配当額に上限を設けず継続的に拡大していくことを目指す方針を掲げています。この方針に基づき、2020年度の期末配当金を1株当たり34円とさせていただきます。年間配当金は75円、連結配当性向は45.4%となりました。今後も、株主の皆さまへの配当については、安定的かつ継続的に拡大することに配慮しながら実施したいと考えており、2021年度は中間配当38円、期末配当39円の計77円を計画しています。また先ほども触れましたとおり、ハーモニック社株式の売却により得る資金のうち200億円を、自己株式の取得・消却のために投じます。

新長期ビジョンでは、「イノベーションリーダー」として新たな市場を切り開いていくことを目指すと明確に宣言しました。ESG課題解決やSDGsの実現に向けた取り組みなど、社会への貢献もしっかりと果たしながら、当社グループが最大の拠り所とする技術力、ものづくりの総合力にさらに磨きをかけ、利益ある成長を実現してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社グループのくわしい情報

Nabtesco ホーム > IR情報 > IRライブラリー  
→ <https://www.nabtesco.com/ir/library/>





特集

## 2030年に向けた新長期ビジョンを策定

当社グループは2030年に向けてグループの成長・発展の実現に向けた指針となる新長期ビジョン「未来の“欲しい”に挑戦し続けるイノベーションリーダー」を策定しました。新長期ビジョンでは、*Innovation In Action* のキャッチフレーズのもと、これまで培ってきた「ナブテスコらしさ」を基盤とし、「技術」「グローバル化」「社会貢献」に注力しながら事業を推進することで市場の新価値を創造し、お客さまの一步先を行くイノベーションリーダーとなることを目指します。

長期ビジョン達成へのイメージ

2030年ビジョン ▶ 未来の“欲しい”に挑戦し続けるイノベーションリーダー

イノベーションで “C” を変える

Core-technology (コア技術)  
Customer (お客さま)  
Culture (生活)  
Carbon-free (脱炭素)...

グローバル化  
Globalization  
日本生まれの  
世界標準  
真のグローバル企業へ  
成長

技術  
Technology  
未来の“欲しい”を  
技術で創る  
新しい「うごく」を  
デザイン

社会貢献  
Contribution  
SDGs & ESG  
社会発展と  
環境保護に貢献

信頼と匠のものづくり  
安全・安心・快適を提供

ナブテスコらしさ  
Identity

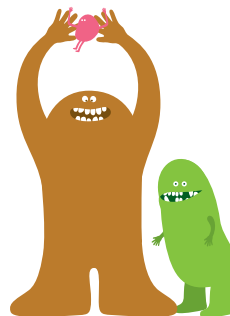
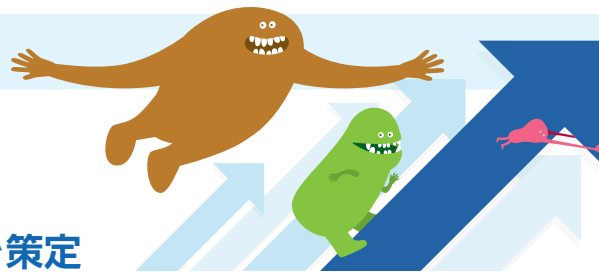
Enjoy the Challenge  
ひとりひとりの夢を実現

キャッチフレーズ ▶

*Innovation In Action*

2030年のありたい姿 ▶

- 独創的なモーションコントロール技術とインテリジェンスで新しい価値を創造している
- 想いのままに「うごかす、とめる。」で豊かな社会と地球環境に貢献している
- 人々の生活に安全と安心を提供し笑顔をもたらしている



特集



## 環境教育プロジェクト「地球教室」への協賛



当社は、事業を展開する地域において、事業とかわりの深い分野で、地域・コミュニティとの交流・連携を推進することを「企業市民活動方針」に明文化し、実践しています。本方針に沿った取り組みとして、当社は2014年より朝日新聞環境教育プロジェクト「地球教室」に協賛しています。「地球教室」は、子どもたちが楽しく学び、地球のために自ら進んで行動してくれるような環境教育を目指して、2008年にスタートした総合学習プログラムです。

そのプログラムの一つである「かんきょう1日学校」が2020年9月20日に開催されました。東京・有楽町朝日ホールの会場には、抽選で選ばれた小学4年生から6年生の約60人が出席し、イベントの様子はオンラインで全国に配信されました。当社が担当する授業では、航空宇宙カンパニー技術部の3名が講師を務め、「飛行機のエコ」をテーマに岐阜工場からオンラインで授業を行いました。飛行機の姿勢制御の仕組みや、飛行機の装置を軽量化して燃料消費を減らす取り組みなどを説明しました。



有楽町朝日ホールでの当社授業の様子



オンラインで会場と岐阜工場をつないで、子どもの質問に答える様子

## 株主さまインフォメーション

### ■ ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトでは、当社に関するさまざまな情報を発信しています。

<https://www.nabtesco.com>



### ■ 公式SNSのご紹介

#### Youtube

<https://www.youtube.com/user/NabtescoPromotion> →  
TVCMや会社案内映像などをご覧ください。



#### Facebook

<https://www.facebook.com/Nabtesco.corp/> →  
最新の情報、技術紹介、CSR活動など幅広くお届けします。



#### twitter

[https://twitter.com/Nabtesco\\_corp](https://twitter.com/Nabtesco_corp) →  
最新の情報、技術紹介、CSR活動など幅広くお届けします。



### ■ 配当金

当社は、当社グループ全体の業績をベースに、戦略的な成長投資、財務健全性の確保、株主還元バランスおよび安定配当を考慮した企業収益の適正な配分を図ってまいります。

また、現中期経営計画期間中の配当方針として、連結配当性向を35%以上とし、上限を設けず1株当たり配当額の継続的な拡大を目指すこととしています。

#### 配当金・配当性向の推移

		2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期
1株当たり 配当金	中間	34円	36円	36円	41円
	期末	38円	37円	37円	34円
	合計	72円	73円	73円	75円
配当性向		35.3%	43.0%	50.5%	45.4%

### ■ アンケートにご協力ください。

今後のIR・SR活動の充実のため、株主の皆さまにアンケートをお願いいたします。  
締め切りは**2021年5月7日**(ハガキの場合は必着)です。



ハガキアンケートサイトからご回答いただけます。  
<https://smartweb1.eventissimo.jp/> →



抽選で  
**300名さまに**  
当社ノベルティを  
プレゼント

※発送は、7月上旬以降を予定しております。

# ナブテスコ 株式会社

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目7番9号  
TEL:03-5213-1133 FAX:03-5213-1171

